



2025 年 6 月 20 日

各 位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 小川 浩平

(コード番号:6993 東証スタンダード市場)

問合せ先 財務経理部マネージャー 今長 岳志

(TEL 03-6451-4300)

当社連結子会社の株式会社大黒屋におけるグローバル決済プラットフォーム

Stripe の導入のお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社大黒屋（代表取締役社長：小川浩平、以下「大黒屋」）は、6月20日（金）より、グローバル決済プラットフォームである「Stripe」を導入し、新たにグローバル市場の開拓に着手することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. グローバル決済プラットフォーム「Stripe」について

「Stripe」は2011年より企業向けに提供されているグローバル・ファイナンシャル・プラットフォームです。スタートアップから世界的な大企業まで数百万社が Stripe の決済プラットフォームを導入しており、決済処理のみならずリアルタイムで資金をプログラム化し、収益を成長させ、新規事業展開を加速させています。サンフランシスコとダブリンに本社を持つ Stripe 社は、インターネットの GDP を拡大することを使命に掲げており、2024年には Stripe を利用したビジネスの総決済額は1.4兆ドル(約210兆円)を超え、世界のGDPの約1.3%にも相当しています。

2. Stripe 導入の背景と導入のメリット

(1) 理由

大黒屋では、Chrono21 や e-bay などの海外 EC に出品しておりましたが、次のような不安・懸念要素が多く、高価な品物の売買を行うには、心理的ハードルが高いといった障害がありました。

- ①海外現場で主流の決済手段に未対応
- ②言語・通貨・住所入力における障壁
- ③各種決済規制や税制の違いへの懸念
- ④不正や補償等セキュリティ面への不安

(2) Stripe 導入によって期待される主なメリット

① ローカライズされた決済が可能

お客様が、価格と支払を自分が選択する言語や通貨で確認でき、決済は引続き日本円で行われます。

② 世界的な信頼の獲得

Stripe のセキュリティとブランド認知度により、購入者の懸念と不安を軽減し、取引におけるグローバルな信頼を獲得します。

③ シームレスな決済

モバイルウォレットと自動入力決済オプションに最適化された決済を実現します。

④ 日本限定在庫へのアクセス

再販業者、プロキシ、サードパーティの購入サービスは不要であり、お客様は Stripe を通じて大黒屋から直接購入できます。

⑤ 透明性の高いコスト

税金、送料等を事前に表示できるため、配送時の手間や確認作業を軽減できます。

⑥ 国を横断した直接的な取引

・国ごとに分断されたサイトやブランドの混乱はありません。公式グローバルストアは1つだけです

・.us/.eu/.cn/.kr の各バージョンを個別に操作する必要はもうありません。単一のグローバルストアで、一貫した価格設定を実現します。

⑦ リアルタイムの注文確認

即時の確認メールと追跡機能の統合により、リアルタイムの注文確認を実現します。

⑧ グローバル配送サポート

エンドツーエンドの配送状況が可視化される国際的な配送業者との連携を実現します。

⑨ 高い安全性

安全な決済取引、明快なサポート管理、そして Stripe によるコンプライアンス対応と不正防止機能を備えた越境決済により、高い安全性を担保します。

● グローバル決済プラットフォームStripeの導入

グローバル決済プラットフォームStripeの導入により、自動での通貨換算や送料計算、不正チェック、税金サポート、多言語対応、透明性の高い手数料等、グローバル基準の決済を実現。海外ユーザー手間に対する機会損失の大幅低減を図る。

世界的な信頼と安全性の獲得

Stripeによるコンプライアンス対応と不正防止機能を備えた越境決済により、高い安全性を担保

決済のローカライゼーション

価格も支払いも好みの言語や通貨で確認可能に

日本限定在庫へのアクセス

再販業者・プロキシ・サードパーティの購入サービス不要。大黒屋から直接購入可能

シームレスな決済

モバイルウォレットと自動入力決済オプションに最適化された決済の実現

リアルタイムの注文確認

即時の確認メールと追跡機能を統合リアルタイムの注文確認を実現

透明性の高いコスト

税金、送料等を事前に表示
配送時の手間や確認作業を軽減

グローバル配送サポート

エンドツーエンドの配送状況が可視化される
国際的な配送業者との連携を実現

国を横断した直接的な取引

.us/.eu/.cn/.krの各国サイトはなくなり
単一のグローバルストアで一貫した価格設定を実現

ストライプ
×
大黒屋

3. 大黒屋としての今後の展開

大黒屋では、Stripe導入によるこれらのメリットを駆使し、国内市場に加え、新たに海外市場の拡大を図ります。在庫全体を制限なくグローバルに利用できるようにし、国境をまたいで大黒屋の認知度を高めていく方針です。

具体的には新たにオーストラリア、ブラジル、カナダ、香港、インド、インドネシア、ケニア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、フィリピン、サウジアラビア、シンガポール、南アフリカ、スイス、タイ、アラブ首長国連邦、英国、米国、日本などを含めた20カ国以上からのグローバル販売を実現することを目指します。

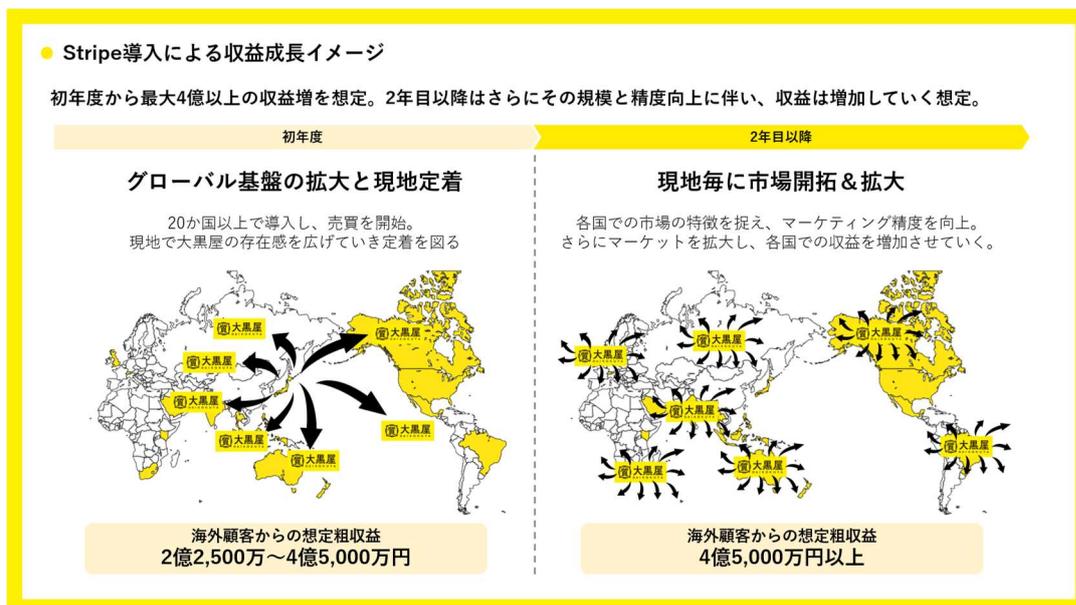
● Stripe導入による収益のグローバル化

新たにアメリカ、カナダ、タイ、インド、などを含めた20カ国以上からのグローバル決済を実現。初年度時点で、海外顧客からの新規年間粗収益は2億2,500万~4億5,000万円（約145万~290万米ドル）となる見込み。



現在の対象国 オーストラリア、ブラジル、カナダ、香港、インド、インドネシア、ケニア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、フィリピン、サウジアラビア、シンガポール、南アフリカ、スイス、タイ、アラブ首長国連邦、英国、米国、日本

試算として海外顧客からの新規年間粗収益は2億2,500万～4億5,000万円（約145万～290万米ドル）（※1）を見込んでいます。コンバージョン率の向上とカート放棄率の減少も想定され、年間3,000万～1億円（約19万～65万米ドル）の追加利益が見込まれます。



また、「Stripe」の導入を通じて、大黒屋では、送料、手数料、通貨における計算や、詐欺対策などの作業を外部の第三者に委託せず、自社内で一括して管理していく体制の構築を実現します。

※1：大黒屋 EC サイトにおける現在の平均注文金額と、予想される取り組み1年目の国際取引数を元に大黒屋が独自計算

4. 今後の見通し

今後、Stripe の導入により、当社グループの中長期的な企業価値のさらなる向上に資するものと考えております。3.での試算はありますが、他の要素や条件等も考慮する必要があるため、2026年3月期の業績に与える影響につきましては、今後の進捗状況を注視しつつ、適宜精査を行ってまいります。開示すべき重要な事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

5. 子会社の概要

- (1) 名称：株式会社大黒屋
- (2) 所在地：東京都港区港南四丁目1番8号
- (3) 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 小川浩平
- (4) 事業内容：古物商、質屋業
- (5) 創業：1947年4月
- (6) 設立：1953年1月
- (7) 資本金：313,095千円

以上